

## ICJ 2号ファンドへの出資

2022年6月30日  
関西電力株式会社  
合同会社K4 Ventures

合同会社K4 Ventures<sup>※1</sup>は、このたび、関西電力グループ（以下、当社グループ）のさらなる成長を目的として、「インクルージョン・ジャパン株式会社」（以下、ICJ）が組成した、ベンチャーキャピタルファンド「ICJ 2号ファンド投資事業有限責任組合」（以下、ICJ 2号ファンド）へ出資することといたしました。

ICJは、SDGsの達成に貢献するベンチャー企業を中心に投資を行うベンチャーキャピタルです。その中でもICJ 2号ファンドは、脱炭素やサーキュラーエコノミー<sup>※2</sup>の分野に取り組むベンチャー企業を中心に投資を行います。

当社グループは、今回の出資を通じ、環境エネルギー分野における投資を促進させることでゼロカーボン社会の実現に貢献してまいります。加えて、同分野における新しい知見の獲得や、ベンチャー企業等との連携・協働を進め、脱炭素領域等における新規事業の創出を加速していきます。

※1：関西電力グループが革新的な技術やビジネスモデルを有するベンチャー企業との連携を強化するための投資主体

※2：限りある資源を効率的に活用し、持続可能な形で利用する循環型経済活動

以上

別紙：ICJ 2号ファンドへの出資

# ICJ 2号ファンドへの出資

2022年 6月30日  
関西電力株式会社  
合同会社 K4 Ventures

## 会社概要

インクルージョン・ジャパン株式会社



設立	2011年
代表者	代表取締役 服部 結花
所在地	東京都品川区西五反田1-11-1 アイオス五反田駅前ビル903
事業概要	ベンチャーキャピタルファンド運営事業、インキュベーション事業 イノベーション創造事業、組織開発コンサルティング事業

## ICJ 2号ファンドの概要

### ESGに特化したベンチャーキャピタルファンド

項目	内容
投資方針	世界のESG関連ルールの変化に直接関与・対応するベンチャー企業へ投資を行い、主に大企業との協業を通じた事業の急速な成長を支援し、高いリターンを目指す
投資対象	炭素排出量管理やカーボン・クレジット市場の加速といった脱炭素分野や、サーキュラーエコミーの分野に加え、金融包括、プライバシー重視など、ESG領域で急速に必要とされるイノベーションを創出するスタートアップ
投資対象国	日本を中心に、アジア・アフリカ市場開拓を目指す企業もカバー
運用期間	2020～2030年（最長2年間延長の可能性あり）

## 出資の目的

- ESG領域で必要とされるイノベーションへの投資を促進し、SDGsの達成およびゼロカーボン社会の実現に貢献していく。
- ファンドを通じたエネルギー分野における新しい知見の獲得や、それらのノウハウを保有するベンチャー企業等との連携・協同を通じて、脱炭素領域等における新規事業の創出を加速していく

## 出資イメージ

